

学校図書館ってどんなところ？

学校図書館は、学校教育において欠くことのできない基礎的な設備であり、その目的は、図書館資料を収集・整理・保存し、児童生徒及び教職員の利用に供することによって、**学校の教育課程の展開に寄与するとともに児童生徒の健全な教養を育成することである**（学校図書館法第1条・第2条）。

学校図書館は3つの機能を有している。¹

- | | |
|--------------------|---|
| 1「 読書センター 」 | 自由な読書活動や読書指導の場 |
| 2「 学習センター 」 | 児童生徒の学習活動を支援したり、授業の内容を豊かにしてその理解を深めたりする |
| 3「 情報センター 」 | 児童生徒や教職員の情報ニーズに対応したり、児童生徒の情報の収集・選択・活用能力を育成したりする |

そのために、学校図書館には、

- 知りたいことが調べられる資料が揃っている。
- 児童生徒の豊かな心や感性を育てる資料が揃っている。
- 趣味やレクリエーションのための資料が揃っている。
- 備えられた資料が、館内に順序よく配架されている。
- 資料を選択し、整備し、紹介・案内をしてくれる人（司書教諭・学校司書）がいる。

ことが、大切である。

司書教諭の役割²

司書教諭は、学校図書館の職務のうち、主に学校図書館の経営及び指導面を担当します。学校図書館の経営方針や経営計画を立て、年間運営計画等を作成します。また、学校図書館の機能を活用する学習指導、読書指導、情報活用能力の育成指導等へ協力、支援したり、自ら指導したりします。

学校司書の役割²

学校司書は、学校図書館の職務のうち、主に学校図書館の整備及び奉仕的職務を担当します。メディアの専門家として、学校図書館メディアの発注・受入から分類・配架等の組織化、学校図書館メディアの提供、情報サービス、読書案内、広報活動など、学校図書館メディアと児童生徒・教職員をつなぎます。

学校図書館ってどんなところ？

(公社) 全国学校図書館協議会「学校図書館に関する職務分担表」

<https://www.j-sla.or.jp/pdfs/20190101syokumubuntanhyou.pdf>

司書教諭と学校司書は、求められるものと立場が違うので、業務や役割が変わってきます。自治体によって、採用条件や仕事の内容が異なるため、上記、職務分担表はあくまでも目安となります。

学校図書館の業務

学校図書館の業務を図で表すと右のようになる。

本マニュアルは、学校図書館が機能するために必要な、物理的業務である①整備について作成したものである。

②応えるとは貸出、予約等の基本的なサービスのことをいうが、下記に示すレファレンスなどにも対応できるようスキルアップを図っておきたい。

③広める・発信するとは学校司書が児童生徒・職員に学校図書館を利用するように積極的に呼びかけることをいう。学校司書は、勤務時間の制約がある場合が多いため、できる範囲でこの3つのバランスを保ち、学校図書館としての役割・機能を果たせるようにする。

下記は、学校図書館の奉仕的業務である②応えると③広める・発信する仕事についての一例である。

整備	①
・ 分類 配架	
・ 表示	
・ 払出し	

応える	②
・ 選書	
・ 収集	
・ レファレンス など	

広める	③
・ ブックトーク	
・ 読み聞かせ	
・ 広報活動 など	

「応える」仕事（例）

レファレンスサービス

図書館利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、司書教諭・学校図書館員が情報あるいは資料を検索・提供・回答することによって援助する業務。需要の多い質問に対して予め、書誌・索引などの必要な資料を準備・作成する作業。

リテラシー

原義は、読み書きの能力。コンピュータを使いこなす能力がコンピューターリテラシーと呼ばれ、総合的に情報を繰って処理する能力が情報リテラシーと呼ばれる。学校司書は情報を読み、書き、発信する上で必要な知識を身につけ、必要に応じて子どもたちの問いに応えられるようにしておきたい。

「広める」仕事（例）

読み聞かせ

話者がともに絵本などを見ながら音読する行為。乳幼児期の情操教育・文字の習得などに効果があるとされる。年齢が上がっても、読書への導入として心を落ち着かせることにも有効であり、集中して話を聞く訓練にもなる。

ブックトーク

集団（主に児童など）を対象に行われる読書案内のひとつの手法。テーマに沿って何冊かの本を紹介し、読書意欲を喚起することを目的とする。

パネルシアター

パネル布を貼った舞台に絵（または文字）を貼ったり外したりして展開する、おはなし、歌あそび、ゲームをはじめとする教育法、表現法。

ビブリオバトル

ゲーム感覚を取り入れた「書評合戦」。発表参加者（バトルー）たちがおすすめ本を持ち合い、5分の持ち時間で書評した後、バトルーと観客が一番読みたくなった本、「チャンプ本」を決定する。

（参照） 知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト

<https://www.bibliobattle.jp/>

（参照） 東京都立多摩図書館作成「やってみよう☆ビブリオバトル」

https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/support_school/research/for_reading/bibliobattle/index.html

エプロンシアター

胸当て式のエプロンを舞台に見立て、お話に沿ってポケットから人形を取り出し、エプロンにつけたり、はずしたり、ポケットに戻したりしながらお話をすすめる。自由に移動しながら体全体で表情豊かに演じることができる人形劇のこと。

ペープサート

紙人形劇のこと。人物の絵などを描いた紙に棒をつけたものを動かして演じる。表と裏で別の絵が描かれており、背景の前で人形を動かすことと、人形の表裏を返すことによって、動作を表現する。ペープサートは和製英語で、英語ではペーパーシアター（paper theater）といわれる。

読書会

何人かのグループで特定の図書を読み、互いの感想、意見などを述べ合う会のこと。

ストーリーテリング

語り手が昔話や創作などの物語を覚え、語り聞かせること。「素話」とも言う。

読み聞かせや朗読とは異なり、物語を覚えて自分の言葉で語る手法。

（参照） 山梨県立図書館「ストーリーテリング実践のコツ」

学校図書館ってどんなところ？

<https://www.lib.pref.yamanashi.jp/storytelling.pdf> (2024.1.31 現在閲覧可)

読書アニメーション

スペインのモンセラ・サルト氏が考案した、読書の力を伸ばすプログラム。読書を楽しむ力、分析的に本を読む力、深く考え読む力、言葉を理解する力を育てようとするもの。読書をゲームとして楽しみながら読解力・表現力・コミュニケーション力を育てる75の方法がある。

(参照) 鹿児島県出水市 「動画で学ぼう!『アニメーション講座』」

https://www.city.kagoshima-izumi.lg.jp/page/page_05376.html

「発信する」仕事(例)

図書館だより

児童生徒、職員に向けて、新年度の開館日・時間のお知らせをはじめ新しい本の紹介、学校図書館で行う催しやお願いなど、多岐にわたるお知らせを載せて学校図書館に興味を持ってもらえるよう発行するもの。

特設コーナー設置

テーマを決めて本の展示を行うことで、児童生徒に普段は手に取らない本への興味や、学校図書館へ足を運ぶ楽しみを持ってもらう。

館内装飾

季節や行事にあわせて館内の装飾を工夫することで常に学校図書館を新鮮に感じ、来館する楽しみを感じてもらう。

掲示物の展示

児童生徒向けの新聞の掲示をはじめ、あたらしい本の紹介については著作権に留意しながら、内容を学校司書自身の言葉で簡単に書き示し展示するなど、様々な方法で学校図書館を楽しく感じてもらい、読書意欲を刺激する工夫を凝らすこと。

オリエンテーション

主に新学期の始めに新入生や全校の児童生徒を対象に、それぞれの学校図書館の利用規則などを紹介して、利用者を学校図書館に親しませることが目的の活動。口頭での説明だけでなく、パネルシアターやパワーポイントなどを活用する方法もある。

国語の教科書で学校図書館に関連する単元は必ず確認する。

各学年オリエンテーション計画例（静岡市の場合）³

小学校

全学年	学校図書館利用案内（開館時間、貸出冊数、貸出期間、貸出返却方法、レファレンス、予約、リクエスト等） 図書館を利用するときのルール（図書館の中は静かに、期限を守る、元の場所に返す、本を大切に、本の取り出し方など） 教科書に出てくる本、おすすめの本などの紹介
1年生	学校図書館って何？ 絵本コーナーの場所と並び方の確認 読み聞かせ 絵本を1冊借りる（借り方、返し方の練習）
2年生	分類って何？①（分類とは何かを理解する。図書館の本も分類され、配架されていることを理解する）
3年生	目次と索引（図鑑の使い方） 百科事典の使い方 簡単な出典の書き方（著者、本の題名、ページ数）
4年生	分類って何？②（日本十進分類法、分類ラベルのしくみについて）
5年生	著作権と引用について 出典の書き方（奥付を知り、出典を書く、インターネットの場合）
6年生	今までの復習や学習できなかったこと

ポイント：クイズ形式や参加型、イラストなどを使って児童生徒が飽きないようにする。
既刊の紙芝居などを利用するのもよい。

中学校

1年生	学校図書館利用案内
2.3年生	調べ学習支援（レポートの書き方、インターネットを含む著作権、引用等）

（参考サイト）

1 文科省「学校図書館ガイドライン」

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/link/1380599.htm

2 全国学校図書館協議会「学校図書館担当者のための情報館」

https://www.j-sla.or.jp/new_shishokyoyu/

3 静岡市教育センター学校図書館支援室「R4 改訂静岡市学校図書館活用ガイドライン p27」

学校図書館メディアってどんなもの？

学校図書館メディア基準（2000 年制定）には、「教育課程の展開に寄与し、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的とする学校図書館に必要な、印刷メディア、視聴覚メディア、電子メディア等、学校図書館メディアの最低基準を定めたものであり、本基準は、印刷メディア（図書、新聞、雑誌等）、視聴覚メディア（CD、DVD 等）、電子メディア（アプリ、web サイト、動画サイト、データベース、パッケージソフト、電子書籍、デジタル絵本、DAISY 等）をもって構成する。」とある。ⁱ

2016 年の文部科学省「学校図書館ガイドライン」の(5)学校図書館における図書館資料には、「学校図書館の図書館資料には、図書資料のほか、雑誌、新聞、視聴覚資料（CD、DVD 等）、電子資料（CD-ROM、ネットワーク情報資源（ネットワークを介して得られる情報コンテンツ）等）、ファイル資料、パンフレット、自校独自の資料、模型等の図書以外の資料が含まれる。」とある。ⁱⁱ

ⁱ 文部科学省「学校図書館法」

https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/dokusyo/hourei/cont_001/011.htm

ⁱⁱ 全国学校図書館協議会「学校図書館メディア基準」

<https://www.j-sla.or.jp/pdfs/20210401mediakijun.pdf>

全国学校図書館協議会「学校図書館のメディア選定に関するガイドライン」

<https://www.j-sla.or.jp/senteigaidrain.pdf> 2025 年 4 月追加記載